

★共生・共走リレーマラソン大会

企画・運営、事務、運転などのスタッフを募集。5月27日(日)。26日(土)準備。28日(月)後片付け。花博記念公園鶴見緑地。18歳以上、初心者も可。☎06(6791)2212大阪障害者労働センター マツサクぐるーぷ。

★豚汁ピクニックボランティア

障害のある子もない子と一緒に、久宝寺緑地までピクニックに行き、豚汁を作る際のサポーターを募集。4月7日(土)JR平野駅集合。16歳以上。参加費300円、交通費上限1000円支給。☎06-6793-4355ひらの地域生活支援センター 時空想 jigusawの杉本さん、内間さん。

★一芸ボランティア

高齢者施設で演奏、歌、芸能を披露。日時は相談で。交通費支給。☎06(6322)2783医療法人 中尾医院 デイサービスセンターゆうの高橋さん。

★セクハラ被害者支援

裁判傍聴、事務手伝いなど。理解のある人がいることで、大きな支えになります。日時・詳細は相談で。☎06(6465)8391大阪ボランティア協会の海土さん。

協力: 大阪ボランティア協会

☎06(6465)8391

大阪NPOセンター

☎06(6460)0268

問い合わせは各募集団体へ



子どもの安全を地域レベルで考える

「GIS総合研究所」では、総合学習を行う学校や、子ども会などの依頼により、GISとGPSについてや、地域の危険特性を考える「安全教育授業」を実施。興味のある各種団体は、☎06(6464)7077へ。大阪市福島区吉野4ノ29ノ20、HP=<http://gissoken.org/>

幼稚園・高校の児童・生徒らが、GPS(全地球測位システム)を利用した地域の防災マップ作りを体験(写真)。「内閣府認証NPO法人 GIS(地理情報システム)総合研究所」では、そのサポートをしています。

同団体は、代表・川添博史さんのほか、GISの研究者や会社員などの11人で、2002年11月に設立。翌年12月に、内閣府の認証を受けてからは、全国で活動しています。子どもたちとスタッフが、いくつかの班に分かれて、通学路を中

内閣府認証NPO法人 GIS総合研究所 子どもたちと地域防災地図作り



NPOとは、Non Profit Organizationの略で、ボランティア団体、市民活動団体など継続的、自発的に社会貢献活動を行う、営利を目的としない団体の総称。

NPO法人 ユース・ラボ21 ひきこもりの若者の再出発をサポート

2004年に設立された「NPO法人 ユース・ラボ21」は、20代・30代のひきこもり状態にある若者やその家族へ、心理カウンセリングや就業支援を行っています。代表の岡田盾天さんのほか、カウンセラー、主婦などスタッフは10人。家族同士の交流の場「家族セミナー」では、本人の状況や経験談を話し合います。講師を招いての勉強会(写真)も開くなど、取り組みもさまざま。「毎日一緒にいると気づかない小さな変化」を、お互いにみつけ合い、それが次の一歩へとつながっていきます。ひきこもり状態から一歩踏み出した若者には、ボランティア活動や就業体験を「就職先をみつけ、送り出したら終わり」ではなく、「社会に出て、きちんと定着するまで息の長いサポートを」と、スタッフの田村さん。これまで、ボランティア活動にのべ20人が就業体験にのべ10人が参加。うち20人は現在も働き続けています。



月1回の「若者の会」に参加しませんか

本人を対象とした「若者の会」、次回は3月17日(土)午後4時～です。参加には、事前の個別面接が必要。会の卒業生は約40人で、今後は卒業生を呼び、話を聞く準備も進めています。詳細は、高槻市八丁町1ノ16、JR駅前高槻ビル405、TEL・FAX 072(684)8161へ。